



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより第4号
令和5年4月17日
・全国学力・学習状況調査
・第1回みえスタディチェック

四気＝川越中校訓 「 やる気 ほん気 こん気 げん気 」
学校教育目標 『 自立した生徒の育成 -自律・調和・創造- 』

- ◆4/18(火)『令和5年度全国学力・学習状況調査(3年生)』国語・数学・英語
 - ◆5/11(木)『令和5年度全国学力・学習状況調査(3年生)』英語<話すこと>
 - ◆5/1(月)『令和5年度第1回みえスタディ・チェック(1・2年生)』
- ※ 国語・数学・理科・・・CBTシステム(1人1台タブレットを使用)

学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学力を育てていきましょう。川越中学校は、「聴き合い学び合う」授業 「学びをあきらめない」授業 そして「誰一人取り残さない」授業を大切にしています。授業改善の視点を持ち、1時間1時間の授業を大切にします。

令和5年4月18日(火)及び5月11日(木)には、中学校3年生を対象にした『全国学力・学習状況調査(以下「全国学調」という)を実施します。また、5月1日(月)には、中学校1年生・2年生を対象に『みえスタディ・チェック』を実施いたします。この2つの結果を活用して、「生徒一人ひとりの現在までの学習内容の理解と、定着を把握し、今後の授業においては『できなかったところを、できるようにする』取り組みや授業改善を図るため」に実施いたします。

令和5年度 『全国学力・学習状況調査』	令和5年度 『みえスタディ・チェック』
■対象学年 中学校3年生	■対象学年 中学校1年生 2年生
■実施日 ①4月18日(火) 国語・数学・英語1限目～3限目 ②5月11日(木) 英語「話すこと」	■実施日 5月1日(月) 国語・数学・理科1限目～3限目
■調査教科 国語・数学・英語 質問紙(学習や生活に関する質問)	■調査教科 国語・数学・理科 <タブレットを活用したCBT> 質問紙(学習や生活に関する質問)
■時間 1教科「50分」	■時間 1教科「50分」

「できなかったところを「できる」ようにするために」

○『全国学力・学習状況調査』、『みえスタディ・チェック』の結果から・・・

- ・「できているところ」「できなかったところ」を学校で把握し、分析し、何年生のどこの内容でつまづいているのかを学校全体で共有していきます。
- ・明らかになった子どもたちの課題に対応した問題や学VIVA(三重県教育委員会学力向上チーム作成)セットなどを授業等で活用し、年間を通して組織的、計画的に「できる」ようにする取り組みや教師の授業改善を進めます。



【昨年度の全国学調の様子】

全国学力・学習状況調査 「実施について。かならず確認してほしいこと」

最後まであきらめずに、粘り強く取り組み、時間いっぱい、がんばって解答をすること。

- ☆ 計算や下書き等は、問題用紙に書き込んでもかまわないこと。
- ☆ 4/18(火)英語『聞くこと・読むこと・書くこと』調査は、調査用CDを再生して進めます。
- ☆ 5/11(木)英語『話すこと』調査は、ICT端末を活用し、オンラインの音声録音方式にて行います。「ヘッドホン」を使用して実施します。
- ☆ 解答をあきらめることなく、「できるところから解答をしてみる」ことを大切にする。

【参考として 昨年度 令和4年度の「全国学調」から】

◆ 令和4年度 「全国学力・学習状況調査」の結果と対応（昨年度）

昨年度、4月19日（火）に中学3年生を対象として（小学校は6年生）「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果を10月21日（金）結果公表をさせていただきました。結果公表は川越町の中学校・小学校一斉に行いました。川越中学校ホームページ（トップページ「お知らせ」のフォルダ）へのアップと3年生生徒への結果（個票）の返却と、「川越町の子どもたちの学力向上に向けて～全国学力・学習状況調査の結果報告～」という冊子を配付いたしました。この調査の目的は、川越中学校の3年生の学力・学習の状況を分析し、本校の「授業への取り組みをはじめとする教育施策の成果と課題を検証すること」にあります。これを受けて、本校での「教育指導及び授業改善に向けての充実に役立てる」ことを大切にします。結果分析をすすめ、指導の成果・課題そして、今後の対応（授業で大切にしている取り組み）をまとめました。この調査で測定できる「学力」とは、学力全体（確かに生きる力）の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを付け加えさせていただきます。

① 【学力調査の結果（経年推移をもとに）】 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大で実施せず

令和元年度	川越中学校の結果から（全体の傾向）： 正答率の低い生徒は少なく、学力の底上げが見られる（学力向上が進んでいる）	
	国語	正答率のやや低い生徒がやや多い
	数学	正答率の高い生徒から低い生徒まで同じような割合で存在する中、正答率の高い生徒がやや少ない。
	英語	平均正答率あたりに多くの生徒が占めており、正答率の低い生徒は極めて少ない。

※令和元年度は、「英語」が実施された

令和3年度	川越中学校の結果から（全体の傾向）： 正答率が中位よりやや低い生徒が多い。	
	国語	正答率のやや低い生徒がやや多い
	数学	正答率の低い生徒から高い生徒まで同じような割合で存在する中、正答率の高い生徒がやや少ない。

※令和3年度は、「国語」・「数学」の2教科のみで実施された

令和4年度	川越中学校の結果から（全体の傾向）： 正答率が低い生徒が少なく、中位よりやや上位の生徒が多い。	
	国語	正答率が低い生徒は少なく、全体的に正答率が高い。
	数学	正答率の中位から上位の生徒が多い。
	理科	正答率の中位からやや上位の生徒が多い。

※令和元年度は、「理科」が実施された



② 【令和4年度実施教科の結果分析と、現状で大切にしている授業内容（授業改善に向けて）】

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果分析 【国語】		
【本校の国語における強み】	【本校の国語における弱み】	【川越中3年国語で大切にしている授業内容】 授業改善の視点で大切にしていること（方向性）
<ul style="list-style-type: none"> ◎表現の技法について理解できている生徒の割合が高い。 ◎行書の特徴を理解できている生徒の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の考え方が伝わる文書になるように、「<u>根拠を明確にして書く力</u>」に課題がある。 ◇助動詞の働きについて理解し目的に応じて使う力が少し弱い。 ◇事象や行為、心情を表す語句についての理解が少し弱い。 <p>【川越中3年生のみなさんへ】</p> <p>上記の国語における「弱み」を自分事としてとらえて、今後の自主学習・家庭学習等につなげていきましょう。わからない点はぜひ、</p>	<p>【説明的文書では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を捉えることを大切にしている。 <p>【書く活動では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章の展開の仕方を学ぶことで、自分の考えを筋道立てて話したり書いたりする力を大切にしている。 ・問題提議に対して、条件（字数制限・活用する言葉の指定など）を与えて書く活動を大切に切にしている。 <p>【表現の仕方では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む人がわかりやすく無駄のない表現の仕方を大切にし、小グループから全体での交流をし、表現する伝える力を養うことを大切にしている。 <p>【発展課題として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに答えが出ないような1時間ごとの大きなテーマを課題として問題提議している。課題については、考える中で登場人物の心情や行動を

<p>◎話の進め方のよさを理解できている。</p> 	<p>友だちと相談したり、教科担当の先生へ質問をしましょう！</p>	<p>明らかにして作品を味わう。個人の考えを書き、習班で意見交流することで、自分の考えを見つめなおし再構築することで深く学ぶことを大切にしている。</p>
---	---	---

【これからの国語授業に求められる力】 自分の考えがわかりやすく伝わるように、考え方の根拠を明確にして「書く力」と「伝える力」「聴く力」の指導の充実。「書くこと」では互いの文書を読み合い、聴き合い、目的や意図に応じた文書の構成や展開になっているかなどについて、感想や意見を述べ合う活動を大切にすすめる。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果分析 【 数 学 】

【本校の数学における強み】	【本校の数学における弱み】	【川越中3年数学で大切にしている授業内容】 授業改善の視点で大切にしていること（方向性）
<p>◎箱ひげ図（資料の最小値、中央値、最大値を表した統計図）からの分布の特徴を読み取ることができる生徒の割合が高い。</p> <p>◎素因数分解ができる生徒の割合が高い。</p> <p>◎問題場面における考察の対象を明確にとらえることができる生徒の割合が高い。</p>	<p>◇事象を数学的（数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的に、統合的に、発展的に考えること）に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力に課題がある。</p> <p>◇結論が成り立つための前提を考え、説明する力に課題がある。</p>  <p>【川越中3年生のみなさんへ】</p> <p>上記の数学における「弱み」を自分事としてとらえて、今後の自主学習・家庭学習等につなげていきましょう。わからない点はぜひ、友だちと相談したり、教科担当の先生へ質問をしましょう！</p>	<p>【基礎基本の定着では（ICT 機器を活用して）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎基本的な計算や考え方は、確実に定着するように時間と問題量を増やしている。具体的には毎時間はじめに、前時の復習としてICT機器を活用して選択問題形式で2分程度で解くことのできる問題を行う。（学んだことを次の問題にどう活かすか、どんなつながりがあるか意識した学習を大切にしている。 <p>【全体への共有の課題から発展課題として】</p> <p><基礎的な問題・課題提示（共有の課題として）></p> <ul style="list-style-type: none"> 前時まで得た「知識と技能」を活かし、基礎的な問題提示（共有課題として）して、自分の力で解こうとすることを大切にしている。そこでは、思考や計算の工夫を一番大切にしている。 <p><発展的な問題課題提示（ジャンプ課題として）></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な問題提示（共有課題）から学んだ「知識と技能」を最大限に活用をし、自分で考えたことと、学習班で学んだ他者の考え方も取り入れて、深い学びへとつなげることを大切にしている。 <p>【根拠をもとに説明する力として。深い学びへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考えたことやどの問題をどのような考え方で解いたのかを証明の問題と同じように、考え方の根拠をもとに説明できることを大切にしている。 計算ができればよいのではなく、類似した問題が出たときに、どうすれば解けるのか、どんな関係の時にその考え方をを使うのかを意識して取り組むことで、より深い学びへとつなぐ。 <p>【誰一人取り残さない・学びをあきらめない授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生での少人数（習熟度コース別）授業およびチームティーチング（TT）によって、数学に苦手意識のある生徒やつまずきのある生徒に寄り添いながら対応することを大切にしている。

【これからの数学授業に求められる力】 今回の調査問題のように、いま問われていることは何なのか、それを解決するために必要な情報はどの部分なのかを確認しながらの授業実践。また、伴って変わる2つの数量の変化や対応を知識と技能を活用しそれらの関係を数学的思考から表現できるような指導の充実。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果分析 【 理 科 】

【本校の理科における強み】	【本校の理科における弱み】	【川越中3年理科で大切にしている授業内容】 授業改善の視点で大切にしていること（方向性）
◎物体に働く重力とつり合う	◇静電気に関する知識及び技能	【授業の開始5分で勝負】

力を矢印で表し、その力を説明できる生徒の割合が高い。

◎骨格について共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解決できる生徒が多い。

◎画像や観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できる生徒の割合が高い。



を活用する力に課題がある。

◇状態変化(温度によって物質の状態が変わること)に関する知識や技能を活用する力に課題がある。

◇昆虫でないものと、昆虫を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準をもとに分析し、根拠を記述する力に課題がある。

【川越中3年生のみなさんへ】

上記の理科における「弱み」を自分事としてとらえて、今後の自主学習・家庭学習等につなげていきましょう。わからない点はぜひ、友だちと相談したり、教科担当の先生へ質問をしましょう！

・本時の内容(主題)について、日常の身近な問題や課題から価値や疑問を見出す発問。例えば「運動とエネルギー」での授業開始時の発問にこだわる。発問として「自転車で平地を走っているとペダルから足を離しても走り続けるのはなぜだろう?」。めあての可視化と見通しを大切に。

【既存の知識の確認として演示実験を通じて】

・授業を疑問を持つことからスタートをする。そのためには、既存の知識の活用が必要となる。そのために前時の振り返りやつながりを持つ意味でも「演示実験」等により確認と振り返りを行う。

【理科授業の楽しさに着目して】

・授業開始時の発問に対しての疑問や予想した自分の仮説が、授業を重ねることによって、その根拠を明確なものにしていく。また実験や班での交流から自分の仮説がどうであるかを検証。

【学習カード(学習プリント)の効果的活用】

・「書くこと」を大切にする。1時間ごとの授業で得た知識の積み重ねを可視化するため。授業内におけるキーワードを書きためる。自身仮説が得た知識と技能を活用して深い学びへとつなげる。そして理科的思考を活用し根拠ある課題解決へ。

【これからの理科授業に求められる力】 課題を解決するために適切な探求の方法を検討し、探求の過程の見直しをもつ学習活動の充実を図る。中でも、予測や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、監察、実験の操作や条件の制御などの探求の方法について検討し、探求の過程の見通しを持つ力をつける。

【生徒質問紙による生活調査結果から】 昨年度 令和4年度 川越中学校3年生

①学習時間帯(平日)

Q:学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾や家庭教師、インターネットで学ぶ学習も含む)

・学習時間が1時間以上生徒の割合・・・ 全国:69.5% 川越町:71.6%

*平日に1時間以上家庭学習の時間を確保している生徒は、70%程度となっている。

②計画的な家庭学習

Q:家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)

・(どちらかといえば)している生徒の割合・・・ 全国58.5% 川越町72.4%

*70%以上の生徒が、自分で計画を立てて勉強している。

③読書習慣

Q:学校の授業以外に、普段(月～金曜日)1日あたりどのくらい読書を読みますか。

・1日の読書が30分以上の生徒の割合・・・ 全国:27.3% 川越町:29.3%

・読書を全くしない・・・ 全国:39.0% 川越町:35.3%

*1日30分以上読書をしている生徒以上に、読書を全くしない生徒のほうが多くなっている。

④基本的生活習慣

Q:毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

・起きている児童の割合・・・ 全国:56.8% 川越町:53.4%

Q:毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

・寝ている児童の割合・・・ 全国:37.0% 川越町:33.6%

Q:毎日、朝食を食べていますか。

・食べている児童の割合・・・ 全国:79.9% 川越町:80.2%

*起床、就寝に関しては、やや不規則になっている生徒がいる。朝食は毎日食べている生徒が多い。

⑤自尊感情

Q:自分には、よいところがあると思いますか。

・(どちらかといえば)あると答えた生徒の割合・・・ 全国:78.5% 川越町:84.5%

*自尊感情の高い生徒は80%を超えているが「自分にはよいところがある」と思っていない児童が15%程度。

⑥キャリアの形成

Q:将来の夢や目標を持っていますか。

・(どちらかといえば)持っている生徒の割合・・・ 全国:67.3% 川越町:59.5%

*将来の夢や目標を持っている生徒の割合は、60%程度となっており、40%程度の生徒は夢や目標を持っていない。

⑦スマートフォンやコンピュータの使い方

Q:携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

・(だいたい)守っている生徒の割合・・・ 全国:69.5% 川越町:67.6%

*約70%の子どもは家の人との約束を守れている。

⑧主体的・対話的で深い学びについて

- Q: 今まで受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
・(どちらかといえば) 取り組んでいた生徒の割合・・・全国：79.2% 川越町：83.6%
- Q: 今までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。
・(どちらかといえば) 工夫して発表していた生徒の割合・全国：63.3% 川越町：57.7%
- Q: 児童・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
・(どちらかといえば) できていると回答した生徒の割合・全国：78.7% 川越町：81.9%
- *主体的に学習しようとする生徒は80%以上となっており、自分の考えを深めたり、広げたりすることはできている。しかし、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表することは苦手である。